



新しいお当番決め

R 2 . 8 . 2 0
こども園さかえ
編集 柏谷仁葉

うさぎ組になって早くも2学期に突入！春からお当番活動を続けていますが、この度新しいお当番をみんなで話し合って決めました。今回は子どもたちが大好きなコビト図鑑のキャラクター名にしようということに。決める前は「うさぎさんが話し合えぼどうなっちゃうのかな〜？」とちょっぴり心配でしたが、一人ひとりが自分の意見を持ち、主張したり、友達の話に耳を傾けたり、譲ったりしながら、何とか決定☆5つのグループそれぞれにエピソードがあったので、ご紹介していきます！

“セミグルメ”チーム

初めは一人一人の意見が異なっていたこのグループ。「1つしか決められないんだよねー。どうしようかな？」と言うと、しばらく考え、一人の子が「じゃあ私もセミグルメにしよう」と賛同してくれました。すると次々に「じゃあ私もこれでいいよ！」「僕も！」と納得してくれ、見事決定〜☆気持ちの折り合いがつけられる姿に成長を感じました。

“アラシクロバネ”チーム

このグループは奇跡的に全員アラシクロバネで意見が一致☆いち早くグループ名が決まり、すぐさま意気投合していました♪どうしてもアラシクロバネじゃなきゃ嫌〜！！と、違うグループだった子も一人仲間入りしましたが、快く迎え入れてくれた優しいメンバーです♡



“ホトケアカバネ”チーム

ホトケアカバネと別のコビト、3人対1人で意見が分かれていました。3人は一生懸命「優しいコビトだよ！」「幸せになれるんだよ？」とホトケアカバネの良いところをプレゼンし、説得しようと奮闘！頑張りが実り、ようやく全員が納得して決定することができました。めでたし、めでたし☆

“カクレモモジリ”チーム

このグループはずっと自分の意見が曲げられず、なかなか決められませんでした。「もうこうなったらジャンケンで決める？」と提案すると、それには納得。いざジャンケンをして、カクレモモジリに決まったものの、やはり納得できない子も…。「嫌だ！」の一点張りだった子も、翌日には「俺はモモジリチームだ♪」と喜んでいました(笑)受け入れてくれて良かった〜♡

“ベニコビト”チーム

やはりこのグループも、最初の意見はバラバラ。「みんな違うコビトだと、ずっと決まらないな〜。どれか一つに決めたいよね。」などと色々アドバイスしていくうちに、「そしたらベニコビトでもいいよ」と一人の子が譲ってくれました。これで2人の意見が一致。「じゃあ僕もこれにする」と3人目。時間はかかりましたが、残りの1人も「いいよ！」と納得☆決まった後は、「ベニコビト可愛いね〜♡」とみんなニコニコ笑顔になりました♪

【言葉で伝え合う力】を育むためには、子ども自身が「自分の話をきちんと聞いてもらった経験」が必要になります。大人がしっかりと子どもの話を聞くことで「話を聞いてもらえた！話していいんだ！」という肯定感に繋がるのです。私たち保育者は、子どもたちに言葉で伝える楽しさを教えると同時に、相手の話を聞くことの大切さも伝えるよう心掛けています。普段の会話の中でも丁寧に受け答えをしつつ、このような話し合いという場を設けて自分の意見を伝える、友達の見解を聞くといった経験を重ねていけるようにしたいです。

新しいお当番で大はりきりのうさぎ組さん♪グループで協力してお当番活動を頑張っていこうね！